



## 平成29年 第1ブロック合同災害救護訓練に参加

日本赤十字社では大規模災害時に備え、全国を6つのブロックに分け迅速かつ的確な救護活動を行えるように、訓練を実施しています。

北海道と東北6県で構成される第1ブロックでは、平成29年9月13日から14日の2日間かけ、山形県にて合同災害救護訓練が開催されました。

### 1日目

訓練の1日目には広域災害救急医療情報システム（EMIS）の入力実習等の学習訓練が行われました。災害時の情報伝達が困難な状況下でも、EMISは救護所や避難所の情報を全国の各救護班や医療部隊と共有することが可能なシステムです。訓練実習では、実際の災害時を想定しつつ救護班員はEMISを入力し、疑問点などを確認していました。今回の訓練参加者のなかには実際にEMISを使用した経験がない参加者も多く、指導講師の指導のもと、端末の操作を真剣に行っていました。

また、避難所における巡回診療の実習も行われました。救護班員が班ごとに救護班と避難者役に分かれ、ケガで動くことのできない方や会話が困難な方、乳児を抱えた方等、様々な避難者の状態を想定しての診療を行いました。実習において救護班は外傷的な部分の診療のみではなく、こころのケア部分にも注意を置きながら、避難者の声に慎重に耳を傾けつつ、避難者の状態に気を配っていました。



一つ一つ確認しつつEMISを入力



避難者に寄り添いながらの巡回診療

### 2日目

訓練2日目では実働訓練が行われました。訓練は山形県を震源とした地震により、山形県内で建物の倒壊や主要道路・水・ガス等のライフラインへの甚大な被害、多数の死傷者が出たことを想定し行われました。今回の訓練会場である地上24階建ての高層ビル（霞城セントラル）においても負傷者が多数避難しているという想定で救護訓練が開始されました。パトカーの誘導で訓練会場に到着した救護班は警察や消防と連携を取りながら、傷病者の救護・搬送を行いました。余震等も続く中、次々と傷病者が運ばれてくる状況を再現した訓練には緊迫した流れ、実際の災害時にも想定されうる様々な課題が見つかり、非常に有意義な実働訓練となりました。

なお、この第1ブロック合同災害救護訓練は、来年度岩手での開催が決定しております。



協力しながら搬送



運ばれてきた傷病者へ迅速に対応



## 赤十字奉仕団トピックス

### 赤十字奉仕団ふれあい交流会を開催



花巻4奉仕団による踊りのパフォーマンス

岩手県内の奉仕団が被災地にお住まいの方々に歌や踊り、食事などおもてなしをし、交流の機会を提供するふれあい交流会が沿岸各地で開催されました。赤十字奉仕団は地域の方々に楽しんでもらえるよう、各奉仕団の特色をいかしたパフォーマンスやおもてなしを精一杯行いました。参加した方々は、炊き出しのおふるまいに「おいしいね～」等と笑顔で感想を言いあったり、ゲームや踊りを一緒にし、交流を深めていました。

## NHK 海外たすけあいキャンペーン

2017

### 「NHK海外たすけあい」募金へのご協力をお願いします

#### キャンペーン期間

平成29年12月1日(金)から12月25日(月)まで

#### 受付場所

- 取扱い標示のある金融機関
- JA（農協）
- JF（漁協）
- NHK盛岡放送局
- 市町村日赤担当窓口
- 日本赤十字社岩手県支部および赤十字関連施設

#### 受付方法

上記受付場所、現金で受付しています。金融機関からお振込みいただく場合は、上記受付窓口に「振込用紙（振込手数料無料）」が設置されていますので、ご確認のうえご利用ください。ご不明な点がございましたら、お手続き前に日赤岩手県支部までご連絡ください。

キャンペーンの詳細は特設WEBサイトへ 日赤 海外たすけあい 検索



## 義援金・救援金

～義・救援金にご協力をお願いします～

日本赤十字社にお寄せいただいた「義援金」は、被災県に設置される義援金配分委員会に全額送金され、同委員会で定める配分基準に従って被災者へ届けられます。

また、世界各国の赤十字社・赤新月社を通じて被災国の赤十字社に寄せられる「海外救援金」は、被災国の赤十字社が行う被災者支援活動に役立てられます。

### ★現在みなさまにご協力をお願いしている義援金・海外救援金

#### 義 援 金

義援金名	受付期間
平成29年7月5日からの大雨災害義援金	平成29年12月28日(木)
平成29年台風第18号災害義援金	
平成29年台風第21号義援金	平成30年1月31日(水)
東日本大震災義援金	
平成28年熊本地震災害義援金	平成30年3月31日(土)

#### 救 援 金

救援金名	受付期間
バングラデシュ南部避難民救援金	平成30年3月31日(土)
中東人道危機救援金	

# 赤十字いわて

No.50  
2017 冬季号

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.

## 「大丈夫、大丈夫！あと少しでゴールだよ！」 みんなで協力して見事課題を達成！

『気づき・考え・実行する』

様々な課題や演習を通して  
子どもたちの自主性・自立性を養うリーダーシップ・トレーニング・センター





